

## 造影 CT 検査を受けられる方へ

### 造影 CT 検査、尿路系造影検査の副作用について

造影 CT 検査で使用するのは、『ヨード造影剤』という種類のお薬です。

検査において造影は必ずしも全ての場合に行われるものではありません。

造影検査の必要性は病気の種類によって異なります。

ヨード造影剤には以下のような禁忌・副作用がありますので、ご承知おきください。

### (ヨード造影剤使用の禁忌・原則禁忌)

#### ①禁忌（造影剤を使用してはならない場合）

ヨード造影剤に過敏症の方。

重い甲状腺の病気のある方（ヨードが甲状腺に集積し、症状が悪化することがある）。

#### ②原則禁忌（造影剤を使用しない事が原則だが、適応がある場合には慎重に投与する）

一般状態の極度に悪い方。

気管支喘息（ぜんそく）の方。

重い心臓の病気、重い肝臓の病気のある方・腎臓の働きの悪い方。

急性膵炎・マクログロブリン血症・多発性骨髄腫・テタニー・褐色細胞腫の方

### (造影剤の慎重投与：以下の場合には慎重に投与する必要があります。)

発疹・蕁麻疹などのアレルギーを起こしやすい体質（両親兄弟などを含む）の方。

薬剤過敏症の方

脱水症状・高血圧症・動脈硬化・糖尿病・甲状腺疾患・肝機能低下のある方。

高齢者および幼児・小児。

### (造影剤の副作用)

#### ①軽い副作用（発生頻度 3%程度、100 人につき 3 人）

吐き気・動悸・頭痛・かゆみ・発疹などで特に治療を要しないことが多い。

#### ②重い副作用（発生頻度 0.01%程度、1 万人につき 1 人）

呼吸困難・意識障害・血圧低下などによって治療が必要となり、

後遺症が残る可能性があります。また、入院や手術が必要な場合があります。

#### ③その他の副作用

■10-20 万人につき 1 人の割合 (0.0005~0.001%) で死亡する場合があります。

■喘息（ぜんそく）の既往がある方は、

ない方に比べて重い副作用のおこる確率が約 10 倍高いと報告されています。

■検査後 1 週間程度がたってからも、発疹かゆみなどが起こる場合があります。

■造影剤注入中や注入直後に、一時的に気分が不快になることがありますが、

血管の反射による 血圧低下で過敏症ではありません。

# 造影 CT 検査を受けられる方へ

## (造影剤との併用注意)

ビグアナイド系糖尿病薬（以下の薬剤）を服用している場合、原則的に休薬が必要です。

（商品名：メデット、ネルビス、グリコラン、メトグルコ、シベトン S、シベトス、メトホルミン、メタクト、エクメット、イニシンク等）

造影剤と併用することにより、副作用が増加する可能性がありますので、検査前後の一定期間（検査日 2 日前から 2 日後までの計 5 日間）は、ビグアナイド系糖尿病薬の服用を休薬して下さい。

---

## 1) ヨード造影剤について

ヨード造影剤は X 線を通しにくく、造影剤がたくさんある部分は白く映し出されます。静脈から注入し、全身の血管から血液の豊富な組織に分布していき、1 日以内に腎臓から尿中に排泄されます。その分布の仕方や排泄経路を画像にして病気の診断を行います。

そのため、腎臓の機能が低下している場合、排泄が遅くなるだけでなく腎臓の機能がいっそう低下することがあります。腎機能低下がある場合は慎重な対応が必要です。

## 2) CT 検査で造影剤を使用することによる利点

以下に述べるさまざまな利点があり、よりいっそうの正確な画像診断が可能となります。そのため副作用発生の可能性が高くなる場合でも、造影検査による診断が必要な場合、医師は造影検査を勧めることがあります。

- A) 血管の詳細な情報（閉塞、奇形、解離・腫瘍との関係）を得ることができる。
- B) 各種臓器の血流の情報を得ることができる。      例) 腎臓・脾臓の梗塞の診断
- C) かたまりをつくる病気の検出が容易になる。      例) 肝腫瘍や腎腫瘍など
- D) 病変の性状の画像診断に有用である。      例) 腫瘍の良悪性の鑑別
- E) ほかに病気の種類によって多くの利点があります。

## 3) 検査の実際、および、検査を受ける際の注意

造影検査中は、異常をすぐに知らせるようにブザーをお渡します。造影剤注入中は身体があたたかくなることがあります。これは通常の反応で副作用ではありませんので心配する必要はありません。また、あたたかさの程度は注入速度によって変化します。造影剤は勢いよく注入するので、血管から漏れることがあります。検査中はできるだけ腕を動かさないで下さい。漏れたとしても、時間とともに吸収されるので通常処置は必要ありません（ただし、大量にもれると処置が必要になる場合があります）。

## 4) 遅発性の副作用とは

検査後数日をおいて発生する副作用で、ほとんどは発疹やかゆみなどの症状です。